

# 平成29年度第1回 奈良県学校・地域パートナーシップ事業 地域コーディネーター連絡会実施報告書

- 1 日時 平成29年6月26日（月） 14:00～16:20
- 2 会場 県立教育研究所 中講座室1
- 3 参加者 学校・地域パートナーシップ事業関係者（地域コーディネーター、ボランティア、PTA関係者等、市町村教育委員会事務局職員等） 計88名
- 4 内容
  - 14:00～14:05 開会
  - 14:05～14:15 説明「地域と共にある学校づくり」について
  - 14:15～14:50 パネルディスカッション  
「学校もうれしい 地域もうれしい コーディネーターの役割」  
【パネリスト】大和高田市立陵西小学校地域コーディネーター 吉住久子  
葛城市立白鳳中学校地域コーディネーター 山本光男  
【コーディネーター】奈良県学校コミュニティ・コーディネーター 有田 佐
  - 15:00～16:15 情報交換・発表
  - 16:15～16:20 閉会

## 5 パネルディスカッション概要

- 各コーディネーター就任のきっかけと現在の活動について  
「花が好き。」であったことから依頼を受け、花壇を中心に、食育や生け花教室も実施。（山本）  
元教員で前校長からの依頼を受け、様々なボランティアグループとの連絡調整を行っている。（吉住）
- コミュニティ協議会について  
陵西小学校では年1回開催。学校と地域がもつ課題の共通点と相違点が明らかになる機会である。地域の方と先生方が熟議を展開している。（吉住）  
葛城市では、2ヶ月に1回コーディネーター連絡会を実施し、情報交換を行っている。横のつながりを大切にされた協議会の例である。（山本）
- ボランティア、コーディネーターの人材確保について  
PTA 総会、入学説明会などの機会を利用し、読書ボランティアによる読み聞かせの活動など、実際の活動を見てもらう等を行い、ボランティアの募集を行った。コーディネーターの後継者については、各ボランティアグループにおいて「あの人に頼めば大丈夫。」というまとめ役の方に仕事を見ていただいて徐々にバトンタッチを進めている。（吉住）
- 初めてコーディネーターになった方へのメッセージについて  
「目配り、気配り、心配り」「感謝の眼鏡をもってみる。」「楽しんでやる。」（山本）  
「学校もうれしい、地域もうれしいを心がけて気持ちよく仕事をしてもらえるようにしている。」（吉住）



## 6 情報交換・発表

- 各所で温度差があり、組織づくりなしでは底上げができない。みんなで熟議をし、コミュニティ・スクールにする必要性を感じた。
- “地域が変われば、学校が変わる”という認識のもと、熟議の時間を確保したいが場所や多忙な学校の現状を考えると難しい面がある。
- コーディネーターは、ストッパーやブレーキの役割を果たさなければならぬこともある。横のつながりなど勉強になった。



## 7 感想

- コーディネーターになったばかりで、どうしたら良いのか分からなかったが、実践の発表を聞いてその役割や心構えについて、良く分かりました。
- 何をすべきか、どのようにしてボランティアを募ったらよいか、参考になりました。
- 始めて間もないが、長く続けることの大切さや、そのコツを教えていただいた。

